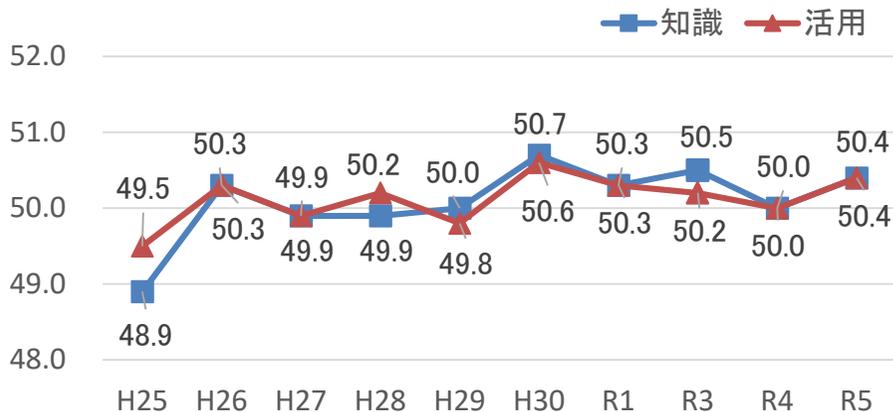


※目標値・・・学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したもの。

結果のポイント

1 偏差値の経年変化



○知識と活用ともに前年度の偏差値を上回っている。

2 観点別の結果

観点	県正答率	全国正答率	目標値
知識・技能	53.1	52.4	56.3
思考・判断・表現	33.5	32.6	41.2
主体的に学習に取り組む態度	19.4	17.2	31.0

○全ての観点において、全国正答率を上回っている。

3 領域別の結果

領域	県正答率	全国正答率	目標値
聞くこと	53.9	54.5	60.6
読むこと	48.3	48.2	53.2
書くこと	33.5	30.6	37.0

○「読むこと」「書くこと」において、全国正答率を上回っている。
▲「聞くこと」において、全国正答率を0.6P下回っている。

4 解答形式別の結果

解答形式	県正答率	全国正答率	目標値
選択	54.3	54.6	58.6
短答	31.3	29.6	40.0
記述	29.1	26.2	34.4

○「短答」において、全国正答率を上回っている。
▲「選択」において、全国正答率を0.3P下回っている。

■ つまづきが見られた問題

大問8(4) 県正答率11.4% 県無解答率53.0%

【ねらい】メールを読み、その要点を捉えて英文を完成させる。

- 日本に来た留学生がクラスメイトに送ったメール(190語程度)と、留学生への返信(60語程度)を読んで答える問題。
- 留学生が送ったメールには、家に招待してもらったお礼や、日本でキャンプをしたいと思っていることなどが書かれている。
- 留学生への返信には、留学生から質問のあったおすすめのカンパ場に対する回答などが書かれている。
- 留学生への返信に空所があり、本文の内容に合うように適切な英語4語を書く。

▲まとまりのある文章から要点を把握するとともに、その内容に基づいて考えを述べるなど、適切に応じることに課題がある。

◆ 指導のポイント

- 一文ずつ解説しながら全体の理解につなげるボトムアップの読み方ではなく、文章全体を読んで大切な部分を捉えさせる読み方を指導する。
- 教え込むのではなく、生徒の気づきを引き出しながら指導する。
- 読む目的に応じて要点を把握させるとともに、文章から取り出した情報をもとに自分の考えを話したり書いたりするなど、領域間の統合的な言語活動を行う。

★ 指導の具体例

まとまりのある文章から要点を把握し、その内容に基づいて考えを述べるようにするための指導例

(使用教材: NEW CROWN English Series 2 Lesson 5 Things to Do in Japan)

1. 主な学習活動

- 日本の中学校を訪れるニュージーランドの姉妹校の先生から届いたメール(教科書本文)を読み、その要点を捉える活動。
- 読んだ内容を基にして、姉妹校の生徒の歓迎会をする場合、どのようなアクティビティを行えばよいのかを話す活動。

2. 授業展開例 (2時間を想定)

- ①教科書本文のメールを読む前に、次のようなことをペアやグループで話し合い、場面や状況を確認する。
 - 海外の友だちが日本に来ることになったら、どんなプランを考えるか。
 - 海外からの観光客は、日本でどんなことを体験したいと思うか。
- ②ニュージーランドの姉妹校の先生が最も伝えたいと思っていることは何かをつかむため、メール全文を読む。
- ③ニュージーランドの姉妹校の先生が最も伝えたいと思っていることや、留学生がやってみたいと思っている活動など、②で読んだ内容をペアやグループで確認する。
- ④デジタル教科書で、新出単語の発音練習や音読練習を繰り返す。
- ⑤留学生がやってみたいと思っている活動について、それぞれの内容を把握するために再度メールを読み、わかったことを表に整理する。
- ⑥姉妹校の生徒を歓迎するために、どのようなアクティビティをすればよいのかを、⑤で整理した表に基づいてペアやグループで話し合う。